

# 郷の集い

発行 P T A 会  
 編集 校長 責任者 祥  
 編集 委員 崎 野 印刷  
 久野印刷 (株)

## 子に学ぶための詩

伊藤 政昭

ツルゲーネフ詩

私は、町を歩いてきた……  
 一人の老いぼれたこじきが私を引きとめた。  
 うみただれ、涙をためた目青ざめた口びる、身にまじったばら、ふけつな傷あと。  
 ああ、この不幸な人間を、貧困は、なんとみににくく、むさぶりくったのだらう。  
 こじきは、  
 赤くふくれあがったきたない手を、  
 私にさしのべた……  
 こじきは、うめくようにつぶやくように  
 ほどこしをこらた。  
 私は、ポケットをさがした  
 が、さいふも、時計も  
 何一つ持っていないかった。  
 だがこじきはまっていた。  
 さしのべた手は  
 力なく、ふるえていた。  
 私は、とほうにくれて  
 こじきの、ふるえる手を

しっかりとにぎりしめた。

「かんべんしてくれ、君。何も持っていないのだよ」  
 こじきは、ただれた目で私を、じっとみつめた。  
 青ざめた口びるがほころび  
 そして、自分のほうから私のこごえた指をにぎりしめた。  
 「何をおっしゃいます

あなた」

こじきはつぶやいた。  
 「あなたがたいことで、これも、あなた、うれしい、ただきものでございます。」  
 私はさとした。  
 わたしも、この友からほどこしを受けたことを。  
 ツルゲーネフ著  
 私が、長年にわたつて自



### 心の対話

P T A 会長 高橋 正徳

若草が芽吹き、大地が活動を始める季節となりました。P T A 会員の皆様にはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

まずしも私ごときが北川前会長の後を受けて会長に御推挙頂き、責任の重大さに身に痛感する次第でございます。  
 P T A は申すまでもなく教師と父母の会であり、両者が密に連携し合い子供達を心身共に健全に育てることにあると思えます。物質的に豊かな時代に育った子供達は、一般的に利己的になっていきます。それは親子の対話不足によるものと思

分の生きる糧として、最も愛してきた詩であります。子供と接するとき、人と接する時、人間愛と尊重の精神がにじみでていて、豊かな人間性を感じ、心をうたれるものがあります。大人の世界にも、子供の世界にも、人は自分を正統化したり、おごったりします。悲しいことですが、非凡な私達の性と言わねばなりません。私は、常にこの詩を口ずさみ、子供から学び、子供から教えられる姿勢を第一にしています。教育は教える立場から、学ぶ立場へ変わるべきだと思っています。最後に新郷小学校では、子供達と言う子供がいない教育をモットーとしています。いつも一人の子供が学校の存在です。今年もよろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 新任あいさつ



教頭 木部 隆喜

近代的な鉄筋の校舎、その前に威風堂々として歴史の重みを伝える陰徳の松、この二つが、校下の皆様の教育に対する愛と期待を象徴しているように思います。三國南小より本校に教頭として着任以来、素直で人なつっこい子ども達に囲まれて一ヶ月が立ちました。この恵まれた環境のもとで、この子どもたちの幸せのため、皆様のご期待に添えるように精一杯頑張る覚悟でございます。皆様の暖かいご指導とご協力をお願い申し上げます。



教諭 清洲 奈美恵

このたびの異動で芦原青年の家より参りました。伝統ある、そしてまた、今の時代の最先端をいく教育を



教諭 河上 丈夫

初めて新郷小学校に来たのは3月30日でした。その時の印象は「何と素晴らしい学校！」真ん中に力強く立っている松の木が凄く印象的でした。始めは何もわからなかったけれど、今では、学校の様子や72名の生徒の名前も覚え、クラスの子供たちなら声を聞いて名前がわかるようになりました。これからこの立派な新郷小学校にお世話になります。今日よりも明日、明日よりもあさってと、一歩一歩子供たちと共に前進していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。



# ピカピカいぢねん



龍田 龍太

初めて体に負けないくらのランドセルを背負い登校するようになって早一ヶ月。親も最初のことでは何かと心配ですが、「学校が楽しい」とそんな言葉を聞くとホッとします。これからは明るく元気一杯に、欲を言えば根気強く頑張るって欲しいですが、これから長い学校生活、色々あるでしょう。川のように、小から大、何事も経験。失敗をおそれず逞しく成長して貰いたいなあ。諸先生方々、皆様、よろしくお願ひいたします。



西正 翔太

昭和六十二年四月、やっとな新郷小学校の一員に加えてもらいました。

父は、長島監督が巨人軍を退団させられた日に生まれました。父である私には、両方共が忘れられない人生の日となりました。毎日学校から帰ってくる



篠崎 宗太

とファミコンを遊びに過ごしています。  
自分の人生は自分で歩んでいくものだから、自分で選ばせてやりたいと思っています。自分の意思は自分で切り開き、他人には思いやりの有る人間にさせたいと思います。

「早く一年生になりたいなあ」と言っていた下の子ども、一年生になって早一ヶ月余りが過ぎようとしています、先生の言うことをよく聞いているのだろうか、字は上手に書いているのだろうかと少し不安になりますが、でも元気よく、とても優しい心を持っている子なので、その気持ちをいつまでも忘れないで育って欲しいと思っています。これからも、勉強にスポーツにと楽しい思い出を沢山作って、小学校生活を送ってほしいと願っています。



山口 祐太

子供は一人の人間。二番目の子供という、どなたも口にする事だと思えますが、いつの間にか大きくなって、もう一年生となりました。この子が成人を迎える頃は二十一世紀の時代となり、どんな時代だろうかと想像するにもむずかしい程、くるくる移り変わる世帯を生き抜くことになるわけですが、すなおさ、無邪気さ、すばしこさをうまくこなせる子に育って欲しいと思います。



青木 翔

末っ子の「門」も、もう一年生。毎日大きなランドセルをかきぎせーラー服を着て集団登校時間ぎりぎりに走って行く姿を見て微笑ましく思います。  
これからは、苦しい事、つらい事が多くさんあると思いますが一つ一つを乗り越えて、相手の立場になっ



吉江 祐太

保育園の頃からいつも私が私に送ってくれるメッセージ、それは「お母さんいつもお仕事ありがと。」「疲れた心身を癒してくれませう。こんなにも入学して一ヶ月、制服姿もようやく体に馴染み、幼稚園ではなかった宿題がもらえる事と時間割りを毎日合わせることに一年生になったんだと言う自覚と喜びに繋がっている様子の毎日です。これからは思いやりやがまんの気持ち忘れずのびのびと育ってほしいと願っています。

通るたびに、あこがれていた白い校舎。ようやく一年生になりました。毎日希望に満ちて張り切っています。この気持ちを忘れずに、楽しい事、つらい事、又友達と喧嘩をしたり助け合っ



小嶋 祐太

て思いやりを示すと共に健康で明るい子供に育って欲しいと願っています。  
園生活の抜けきらない一年生ですが、よろしくお願ひします。



小西 祐太

入学して一月、ランドセルの開閉やせーラー服の着脱、時間割の合わせ方などようやく慣れてきました。宿題も始めは嫌々でしたが花丸が欲しくて頑張るようになりました。でも、よほど疲れるのか八時過ぎには夢の中。その代わり、朝は六時前に起き出して……好きな遊びの一時、その姿は、まだまだ幼な子。つい学習だけ目がいきがち

入学的に一月、ランドセルの開閉やせーラー服の着脱、時間割の合わせ方などようやく慣れてきました。宿題も始めは嫌々でしたが花丸が欲しくて頑張るようになりました。でも、よほど疲れるのか八時過ぎには夢の中。その代わり、朝は六時前に起き出して……好きな遊びの一時、その姿は、まだまだ幼な子。つい学習だけ目がいきがち



酒井 祐太

あの小さなせーラー服が届いたその日から、鏡の前でスカートの裾を手にとつて広げてみたり、ぐるっと回してみたり、もう嬉しくてしょうがないという感じ。自分の体より大きなランドセルを背負って、「行ってきませう。」と元気良く出かけて行きます。先生もとても気に入っているみたいで、一日の出来事を話してくれます。一人一人のお友達を大切に、仲良くやって欲しいなと思っています。

入学的に一月、ランドセルの開閉やせーラー服の着脱、時間割の合わせ方などようやく慣れてきました。宿題も始めは嫌々でしたが花丸が欲しくて頑張るようになりました。でも、よほど疲れるのか八時過ぎには夢の中。その代わり、朝は六時前に起き出して……好きな遊びの一時、その姿は、まだまだ幼な子。つい学習だけ目がいきがち





むじやきな  
きく組

元気いっぱい

かわいい  
さくら組



幼稚園学級委員

高戸 朱美

入園してはや一か月が過ぎようとしています。

最初は、恐る恐る登園していたようですが、最近では自分から進んで着替えをし、「早くみんなが来ないかな。」と玄関でズックをはいて待つようになりました。帰ってから園での出来事等を思い出しながら話をしてくれそうです。

今後いろいろな学び、誰とでも仲良く遊べ、思いやりのある元気な子供に育てたいと思います。

幼稚園学級委員

近藤 淳

早いもので、ついこの間保育園に通い始めたかと思っていたのに、もう幼稚園保育園へも毎日喜んで通っていました。幼稚園へは徒歩での通園の為、どうかという親の心配をよそに、毎日元気に出て行く様です。

仕事柄、子供と接する時間が少ないのですが、娘の幼稚園が楽しくて仕方が無い様子を見ると、ただただ喜ばしい限りです。

これからは、素直で明るく元気な子に育てたいと願っています。

転任ご挨拶

いつまでも

お元気で

岩本 忠雄

新緑の好季となりました。皆様方にはいよいよ吉祥のこととお喜び申し上げます。さて、私は去る三月末をもって三國西小学校へ転任いたしました。

新郷小学校在職中は公私共に格別のご指導ご厚情を賜わり心から厚くお礼申し上げます。僅か二年間ではありましたが、子供達とのふれあいの深まる中で、素直で明るくともすばらしい子供とめぐりあえたと思っております。毎日毎日が充実しております。又新郷校下全体が学校教育にとっても心が深く非常に協力的であり何んら心配する事無く勤めさせて戴いた事を喜んでおります。今後は皆様方からお寄せ戴きましたご指導ご教示の数々を胸に、微力ながら新しい職場で努力する所存でございますので今後共よろしくお願ひ申し上げます。

末筆ながら新郷校PTAの益々のご発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。お礼かたがたご挨拶申し上げます。

水野 清治

一年という短期間でしたが、たくさん行事活動等を通して楽しく勤めさせて頂き、本当に有難うございました。青い海、白い砂浜の続く海岸、形のよい松の木など絵葉書そのもののような自然環境の中にある丹生校に転勤して、はや一か月が過ぎようとしています。もうすっかり、こちらでの生活にも慣れてきました。小・中併設校ということで、小学校一年から中学校三年生の大きい子までおり普通の学校とは、ちよっと違った雰囲気をもっております。学校行事、清掃、全校朝会など小中共に一緒にやっております。上級生のよい言動を小さい時から見習うなどよい面もたくさん見られます。でも新郷校の素晴らしい校舎、遊具施設、教材備品その中でもパソコンを取り入れた学習など、当地ではちょっと考えられない事で、うらやましい限りです。

最後になりましたが、新郷小・幼のPTA、校下の皆様様の益々のご発展と、お子様の健やかなご成長をお祈り致しております。

山口 達男

思い出を胸に忘れもしないあの懐かしい木造校舎。小さなグラウンドで走りまわった夏。すすだらけになって煙突を組み立てた冬。ついこの間のようです。それから間もなく新校舎落成。近代的な鉄筋校舎と広いグラウンドでのびのびとした生活。心やさしく元気な子供たちと温かい御父兄の皆様と共に過ごした四年間は、私にとってかけがえのないものです。一つ一つの出来事を思い出すたびに熱いものが込み上げてきます。新郷校は私の心よりどころと言っても過言ではありません。今、改めて、新郷校での生活を反省しています。こんな私でも、どうにか過去としてこれましたのは、ひとえに皆様の温かいご援助があったからだ、心から感謝しております。本当にありがとうございます。

子供たちの活躍を心から期待し、新郷校のますますのご発展をお祈り申し上げます。





